

## 教科目名 工業英語 II (Technical Communication in English II)

学科名・学年 : 機械工学科 5 年 (教育プログラム 第 2 学年 ○科目)

単位数など : 選択 1 単位 (後期 1 コマ, 授業時間 23.25 時間)

担当教員 : 伊東 徳

## 授業の概要

前期の工業英語 I で用いた工業英語問題集を継続使用し、事実を誤りなく相手に伝えるための簡潔で的確な英語表現法について学習していく。課題レポートは、最近のニュース記事を中心に題材をとり、語彙や熟語の使われ方を確認し記事内容の理解をつける。

## 達成目標と評価方法

## 大分高専目標(C2), JABEE 目標(f)

- 1) 科学記事によく使われる語や最新の用語などに慣れる。(定期試験)
- (2) 科学記事の特徴を捉える。(定期試験)
- (3) 海外ニュース、スポーツ、政治などの記事を読みその内容を理解する。(課題レポート)

回	授業項目	内容	理解度の自己点検
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8	後期中間試験	○幾つかの選択肢の中から日本語の意味に合った語を選ぶ。 ○英文の解説の際に、基本的な英文法事項を復習する。 ○レポート課題の補足的な説明を加えて授業のまとめをする。	【理解の度合い】
9	後期中間試験の解答と解説	○重要熟語、英文法などの確認をしながら的確な英文表現に慣れる。	【試験の点数】 点 【理解の度合い】
10	(1) 英文語句を並び替えて、指定の日本文に合った英文を作成する。	○レポート課題の補足的な説明を加えて授業のまとめをする。	
11	(2) 熟語、英文語句を他の表現に置き換える。		
12	(3) 国内および国外の政治、経済、スポーツ記事などを読みながら英語学習と同時に慣習の違いなども学ぶ。		
13			
14			
15	後期期末試験		【試験の点数】 点
	後期期末試験の解答と解説		

履修上の注意			
教科書	日本工業英語協会、「工業英検 3 級問題集」, 「工業英語ハンドブック」 日本能率協会マネジメントセンター	【総合達成度】	
参考図書	丹下 博文他, 「英語らしい英語表現」, 河合出版 板坂 元, 「英語で話す日本の謎 Q&A」, 講談社		
自学上の注意	授業中の課題、配布資料の要点をまとめてノートに整理すること。		
関連科目	工業英語 I, プロジェクト演習 II (専攻科), 現代英語 I (専攻科), 現代英語 II (専攻科)		
総合評価	達成目標の(1)～(3)について、2回の定期試験（計 90 点）と 2 回のレポート評価（計 10 点）の合計で評価する。総合評価が 60 点以上を合格とする。再試験は総合評価が 60 点に満たない学生に実施する。ただし、課題をすべて提出した学生を対象とする。	【総合評価】	点